

④新規用途開拓による地域農産物の需要拡大、ブランド向上

国産有機甘夏みかん花の蒸留水によるネロリ化粧水等の開発

甘夏みかんの花水を原料とする基礎化粧品等を開発し、新たな市場を開拓する。

➤ 連携体

農林漁業者

企業組合エコネットみなまた（農業）

JAS有機認証の甘夏みかんを生産してきた栽培技術を活かし、甘夏花水(蒸留水)の原料である花を供給する。

中小企業者

(株)ネローラ花香房(その他の卸売業)、グッド・プロジェクト(株)(化学工業)

甘夏花水を利用して安全性の高い化粧水等を製造し、全国エコショップ等のネットワークを通じて販路拡大をする。

連携参加者

杉本 雄(農業)、社会福祉法人さかえの杜ほっとはうす(食料品製造業)、NPO法人くまもとレインボープロジェクト(その他の事業サービス業)

甘夏みかん花の供給やオイルの抽出、販路の紹介などの事業支援を行う。

サポート機関等

熊本商工会議所、(独)中小企業基盤整備機構 九州支部

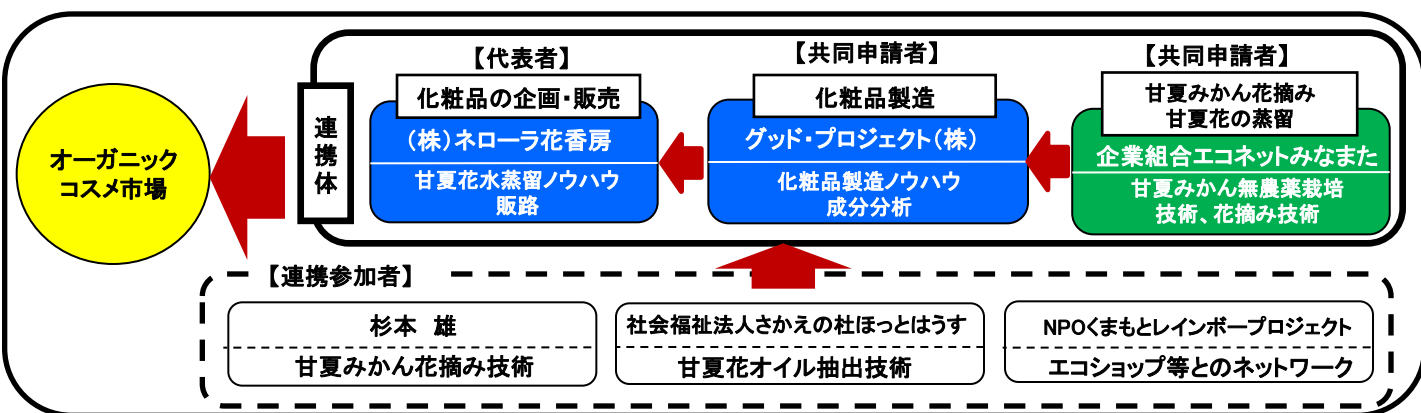
➤ 連携の経緯

(株)ネローラ花香房は、水俣市周辺の特産品である甘夏みかんの花の蒸留水が地中海地域で生産されるビターオレンジと同系列種であり、世界的にも高価でスキンケアに効能豊かな芳香精油であるネロリを多分に含むことを確認した。当地で無農薬有機農法で甘夏みかんの栽培を行うエコネットみなまた、さらに、地域産品を使用した化粧品類の開発製造を行うグッド・プロジェクト(株)と連携して、甘夏みかんの花水を原料とした化粧水「ネロリ花水」等基礎化粧品の製造販売に取り組むこととなった。



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

新商品「ネロリ花水」の主成分であるネロリは天然のビタミンA誘導体成分にある保湿作用とビタミンC成分による収れん作用に優れており、さらに無農薬栽培の甘夏の花を原料とすることから、基礎化粧品において使用感と安全性を重視する消費者ニーズとも合致しているため、新たな需要の開拓が期待される。



➤ 連携による効果

農林漁業者

3年で840万円の売上高増加、耕作放棄地の有効利用

水俣地域の無農薬甘夏みかん栽培の活性化や甘夏みかん耕作放棄地の有効利用に寄与することが期待される。

中小企業者

5年で1億6,380万円の売上高増加、未利用農産物の高付加価値化

これまで未利用の甘夏みかん花を使用した新しい基礎化粧品の開発により、新市場の開拓が期待できる。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社ネローラ花香房

TEL：096-372-8284

E-mail：info@neroli-hana.com

所在地：熊本市九品寺1-7-40 松栄ビル4F

FAX：096-372-8286

ホームページ：http://www.neroli-hana.com/